

# 土砂防だより



秋の彩り（田貫湖畔）

平成20年土砂災害の発生状況 .....	2
土砂災害警戒情報の発表状況 .....	3
勝俣橋向地区（牧之原市）災害関連緊急傾斜地崩壊対策事業	
気象の話（静岡地方气象台） .....	4
市町長の十勝岳火山砂防事業等の視察 .....	6
人命を守る土砂災害対策の推進をめざしての緊急提言	8
「森と水辺を育てる会」のNPO法人化について .....	9
インフォメーション .....	10
お知らせ .....	12



## 平成20年 土砂災害の発生状況

## 土砂災害警戒情報の発表状況



## 気象の話（静岡地方气象台）



# 土砂災害の発生状況

土砂災害は、降雨や地震などにより突然発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪い、地域に深刻な被害をもたらします。

土砂災害は全国各地で毎年発生し、過去10年間で平均1,144件、県内においても年平均52件も発生しています。

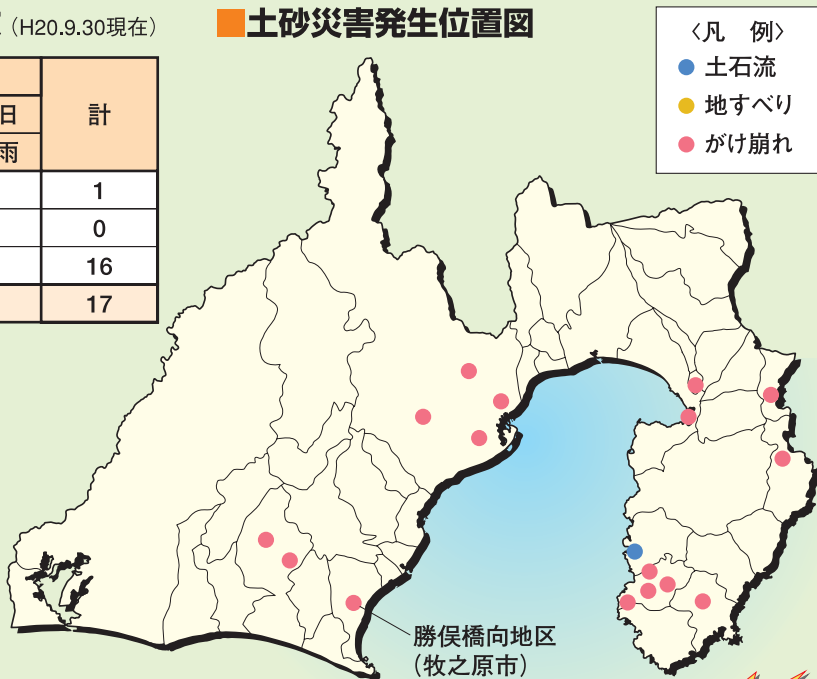
平成20年には、県内で17件（9月30日現在）の土砂災害が発生していますが、人的被害はありませんでした。がけ崩れ16件の内、2件は住宅に押し寄せた土砂や倒木を急傾斜施設（擁壁工）が食い止め、人家（人命）への被害を未然に防止し、地域の安全に貢献しました。

また、このうち、災害規模が大きく、次期降雨等により被害が拡大するおそれがある勝俣橋向地区（牧之原市）において災害関連緊急事業を申請し、災害発生後の迅速な対応をしています。

## ■平成20年 県内の土砂災害発生件数（H20.9.30現在）

種別	発生日と気象状況				計
	5月29日まで	6月20～24日	6月29日	7月4日	
	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	
土石流	0	0	1	0	1
地すべり	0	0	0	0	0
がけ崩れ	6	4	4	2	16
計	6	4	5	2	17

## ■土砂災害発生位置図



がけ崩れによる人家への被害（牧之原市「勝俣橋向」地区）



がけ崩れによる人家への被害（賀茂郡松崎町「野本」地区）



がけ崩れから人家を守った急傾斜施設（賀茂郡松崎町「石部上の山」地区）

# 土砂災害警戒情報の発表状況

県と静岡地方気象台は、住民の早期避難を促進し、土砂災害による人的被害を未然に防ぐため、昨年6月15日から土砂災害警戒情報の発表の運用を行っています。また、気象庁から送られるデータに基づいて、どこが土砂災害の危険度が高まっているかをより限定できるよう、今年6月1日から土砂災害警戒情報補足情報を県ホームページへ掲載しています。平成19年は3回、平成20年はこれまでに5回の大雨で土砂災害警戒情報を発表しました。

土砂災害警戒情報の発表は、過去の土砂災害発生時の降雨状況を超えた危険な状況となっていることを意味します。市町の防災担当者は、前々号・前号でも紹介した対応をお願いします。

## 土砂災害警戒情報発表履歴

(H20.9.30現在)

	発表日時 ( )は最終号数	事象	発表市町	土砂災害 発生件数
①	6月23日 12時13分～ 15時15分 (第2号)	梅雨前線豪雨	浜松市北部 (1市町1地区)	3
②	6月29日 16時20分～ 18時45分 (第2号)	梅雨前線豪雨	下田市、河津町、松崎町、 西伊豆町、東伊豆町 (5市町5地区)	5
③	7月 4日 5時22分～ 9時35分 (第4号)	梅雨前線豪雨	静岡市南部、由比町、富士川町、 富士市、長泉町、裾野市、沼津市 (7市町7地区)	1
④	8月30日 3時35分～ 5時25分 (第2号)	低気圧による大雨	南伊豆町、松崎町、西伊豆町、 伊豆市 (4市町4地区)	0
⑤	9月20日 0時20分～ 3時40分 (第3号)	台風13号	伊東市、伊豆市、下田市、 東伊豆町、河津町 (5市町5地区)	0
合計			22市町22地区	9

## 勝俣橋向地区(牧之原市) 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業

6月29日の豪雨でがけ崩れが発生し、住宅への被害が発生した牧之原市の勝俣橋向地区では、災害規模が大きく、次期降雨等により被害が拡大するおそれがあるため、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業を申請し、災害発生後の迅速な対応をしています。

### ■事業概要

事業費：33.36百万円 事業内容：法面工  
採択日：H20.8.14



住宅の被害状況



がけ崩れの全景



# 気象の話

## 静岡県の夏 (2008年6月～8月)の天候

—— 静岡地方気象台 ——

### 【天候の特徴】

○天候の変動が大きい夏であった。

6月は曇りや雨の日が、7月・8月は晴れの日が多く、天候が大きく変動しました。気温も、6月の低温、7月から8月中旬の高温、8月下旬の低温と大きく変動しました。

○局地的な大雨がたびたび発生した。

梅雨前線や、梅雨明け後の上空の寒気や湿った気流などの影響により、6月下旬から7月上旬と8月には県内で局地的に雷を伴う大雨がたびたび発生しました。

○夏の平均気温は高くなったところが多かった。

7月から8月前半に高気圧に覆われ顕著な高温となったため、夏の平均気温は高いところが多くありました。

## 1 概況

6月は梅雨前線が日本列島南岸に停滞したため、曇りや雨の日が多くあり、7月から8月前半にかけては、高気圧に覆われ、晴れて暑い日が多くありました。また、梅雨前線や、上空の寒気、湿った気流などにより、大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴う大雨となりました。6月の低温、7月から8月中旬の高温、8月下旬の低温と気温が大きく変動しました。

東海地方の梅雨入り・梅雨明けは、次のとおり確定しました。

梅雨入り／5月28日ごろ（平年 6月8日ごろ） 梅雨明け／7月12日ごろ（平年 7月20日ごろ）

## 2 土砂災害警戒情報の発表

この夏は、梅雨前線や、梅雨明け後の上空の寒気、湿った気流などにより、局地的に雷を伴う大雨がたびたび発生し、土砂災害警戒情報を4回発表しました。

6月23日／浜松市北部 6月29日／下田市、河津町、松崎町、西伊豆町、東伊豆町

7月 4日／静岡市南部、由比町、富士川町、富士市、長泉町、裾野市、沼津市

8月30日／南伊豆町、松崎町、西伊豆町、伊豆市

(8月末現在)

〈表1〉 気象官署・特別地域気象観測所の月別・夏(6～8月)降水量

	静岡			浜松			御前崎		
	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級
6月	322.5	114	平年並	287.0	120	多い	160.5*	60	少ない
7月	128.5	46	かなり少ない	78.0	37	少ない	43.0	20	かなり少ない
8月	291.5	119	多い	266.5	158	多い	156.5	85	平年並
夏	742.5	92	平年並	631.5	102	平年並	360.0	54	かなり少ない
	三島			石廊崎			網代		
	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級
6月	368.5	166	かなり多い	373.0	153	かなり多い	401.0	165	かなり多い
7月	102.0	49	少ない	13.0	7	かなり少ない	34.5	15	かなり少ない
8月	238.5*	114	平年並	169.5	101	平年並	462.0	222	かなり多い
夏	709.0	110	平年並	555.5	91	平年並	897.5	132	多い

注：[\*]を付した値は、統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合を示す。

〈表2〉 気象官署・特別地域気象観測所の月別・夏(6~8月)平均気温

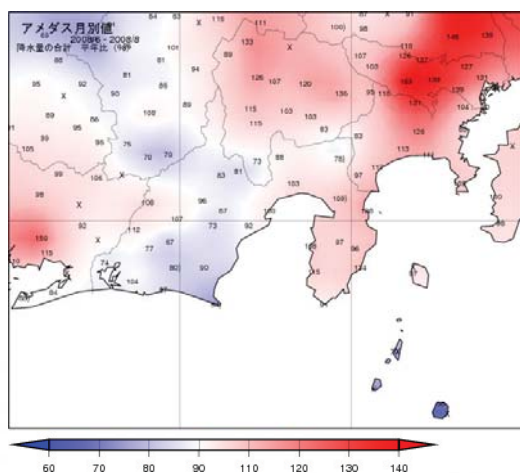
	静岡			浜松			御前崎		
	平均気温(°C)	平年差(°C)	階級	平均気温(°C)	平年差(°C)	階級	平均気温(°C)	平年差(°C)	階級
6月	21.4	-0.5	低い	21.4	-0.4	低い	21.0	-0.2	平年並
7月	26.3	+0.8	高い	26.6	+1.3	かなり高い	25.9	+1.4	かなり高い
8月	27.2	+0.4	高い	27.3	+0.6	高い	27.0	+0.8	高い
夏	25.0	+0.3	平年並	25.1	+0.5	高い	24.6	+0.7	高い

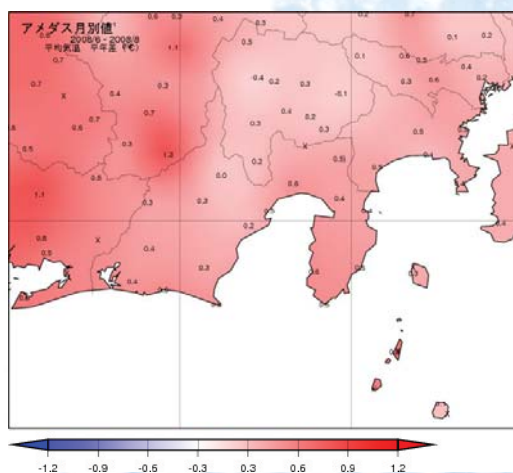
	三島			石廊崎			網代		
	平均気温(°C)	平年差(°C)	階級	平均気温(°C)	平年差(°C)	階級	平均気温(°C)	平年差(°C)	階級
6月	21.2	-0.5	低い	20.2	-0.7	低い	20.3	-0.7	低い
7月	26.7	+1.5	かなり高い	25.4	+1.3	かなり高い	25.8	+1.3	高い
8月	27.0	+0.5	高い	26.4	+0.6	高い	26.3	+0.3	平年並
夏	25.0	+0.5	高い	24.0	+0.4	高い	24.1	+0.3	平年並

〈表3〉 雷日数

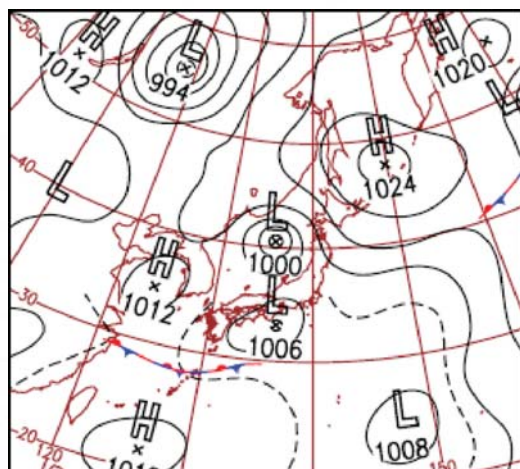
	静岡		御前崎	
	雷日数(日)	平年値(日)	雷日数(日)	平年値(日)
6月	3	1.2	2	0.9
7月	3	3.2	0	2.4
8月	6	3.6	7	2.8
夏	12	8.0	9	6.1



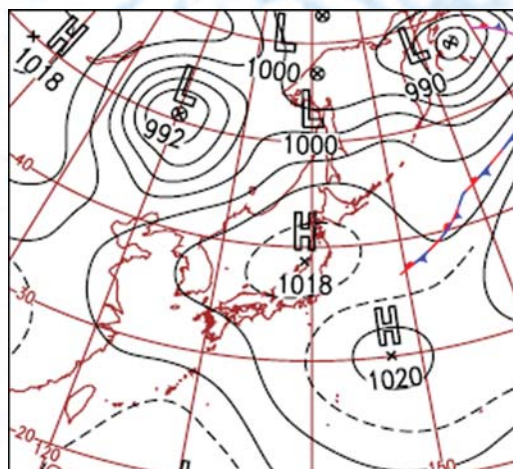
〈図1〉 夏の降水量の合計の平年比(%)



〈図2〉 夏の平均気温の平年差(°C)



〈図3〉 今年の夏の気圧配置(2008年8月24日)



〈図4〉 一般的な夏の気圧配置(2007年8月24日)

# 十勝岳火山砂防事業等の視察

8月21(木)～23日(土)に、北海道十勝岳火山砂防事業を視察しました。今回の視察は国土交通省開発局旭川開発建設部治水課の協力を得て実施したもので、原田副支部長(袋井市長)を団長に23名が参加いたしました。

この視察は、毎年当協会が実施している事業で、会員(市町長)により砂防関係事業を視察し、生きた教訓(体験者の生声など)から砂防事業の周知・普及を図ろうというものです。

十勝岳は、大正15年5月24日午後0時11分頃、第1回目の噴火が起き、小規模な泥流が現在の白金温泉付近を襲いました。これに引き続き、午後4時17分頃第2回目の噴火によって、山の一部が崩れ高温の岩屑なだれが発生し、斜面上にあった雪を一気に溶かして大規模な泥流となりました。この泥流は、当時の上富良野村と美瑛村をのみこみ、死者・行方不明者を含め144名の被害者を出しました。(富士山の噴火でも融雪型火山泥流が想定されています。)



美瑛町にて



## 参加市町等

袋井市、河津町、森町、伊豆市、伊豆の国市、菊川市、東伊豆町、由比町、沼津市、牧之原市、函南町、富士川町、浜松市、静岡県建設部、下田土木事務所、静岡土木事務所、島田土木事務所、御前崎土木事務所、袋井土木事務所、砂防室(事務局)

## 日程

8月21日 旭川市内宿舎集合  
8月22日 上富良野郷土館(十勝岳火山噴火被害について)  
美瑛町役場(美瑛町)・美瑛川1号堰堤  
十勝岳火山砂防情報センター  
8月23日 地域振興事例視察

## 上富良野町郷土館

上富良野町郷土館では、明治32年鉄道が開通したことで、急速に開拓が進んだ上富良野町の歴史と、その町を一瞬にしてのみこんだ十勝岳噴火の歴史が資料展示されており、当時の災害映像を見ることができます。

旧上富良野村役場庁舎は、大正8年に建設されたもので、当時としては他町村でも見られない豪華なものでした。郷土館は、この旧庁舎をモデルとして昭和53年に建設されています。



上富良野町郷土館



噴火当時の映像を見る参加者のみなさん

## ● 美瑛町役場訪問

美瑛町の浜田町長より、美瑛町は十勝岳の噴火による災害に幾度も見舞われたため、現在では十勝岳において火山砂防対策を進める一方で、関係機関と一体になった防災訓練など、非常時への備えを強化しているとお話がありました。また、美しい景観について、美瑛町では行政が参加しつつ住民自身がまちづくりの中心になっていると、貴重なお話をいただき、視察参加者との活発な意見交換を行いました。



浜田町長の挨拶



意見交換する参加者のみなさん

## ● 十勝岳火山砂防情報センター

十勝岳火山砂防情報センターは、各種の泥流センサー、気象情報、監視モニターなどを集中監視し、情報を迅速かつ正確に提供するための施設として、最も危険性の高い白金温泉の隣接地域に、平成4年に設置されました。情報センターでは、ワイヤーセンサー、火山監視カメラ（ITVカメラ）、振動センサー、雨量・積雪深計など、先進的な監視装置などを設置しています。



北海道開発局職員の説明を聞く参加者のみなさん



火山情報センターにて（背景は十勝岳）

## 参加者の声

■ 視察団 団長 副支部長 原田 英之（袋井市長）

今年度の市町長等砂防事業県外視察は、北海道の十勝岳火山砂防事業を視察しました。

連日晴天に恵まれ、山背の影響か涼やかで大変有意義な視察となりました。視察先では、浜田美瑛町長をはじめ、北海道開発局旭川開発建設部、上富良野町の職員の皆様には、ご多忙中にも関わらず、多大なご協力とご配慮をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

今回の視察で実際に見聞きした多くの成果を今後の地域づくりに役立ててまいりたいと思います。

団員各位のご協力により全員無事で全日程を終えることが出来ましたことを心より感謝いたします。

# 人命を守る土砂災害対策の推進をめざしての緊急提言を決議

(社)全国治水砂防協会では、平成20年7月23日に開催された理事・顧問会議において、砂防事業の現状を憂慮し、人命を守る土砂災害対策の推進をめざしての緊急提言を決議し、直ちに国会及び政府に要望活動を行いました。

## 緊急提言

我が国では毎年1,000件を超えるような多くの土砂災害が発生している。今年もすでに、梅雨前線豪雨等により、土砂災害が多発している。特に6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震による未曾有の土砂災害は、流域の姿を一変する程の壊滅的な被害をもたらしたところであり、改めて土砂災害対策の重要性が認識されたところである。

このような状況において、脆弱な国土の荒廃を防ぎ、尊い人命や貴重な財産が土砂災害により失われることがないよう、国はその責任を十分に認識し、国民の安全・安心を確保するため、必要な対策を地方公共団体と連携しつつ早急に講ずべきである。

そして、人命を守る土砂災害対策のため、砂防を全力で進めよう！

### 記

1. 国は、近年続発する大規模地震や猛烈な集中豪雨による激甚な土砂災害の発生状況や、地球温暖化に伴う気候変動による影響等を踏まえ、国民の生命、財産を土砂災害から守り、地域の安全・安心を確保するため、砂防関係事業を強力に推進するための十分な予算を確保すること。

2. 国は、20万箇所を数える土砂災害危険箇所の整備率が約20%の現状を深刻に認識し、土砂災害に対するハード対策とソフト対策を有機的に連携させた施策を全国に展開するなど強力なリーダーシップを発揮し、土砂災害対策を推進すること。

特に次の事項に重点を置くべきである。

- (1) 岩手・宮城内陸地震等大規模な地震等による土砂災害が多発している。国の土砂災害に対する専門的技術に基づいて、より一層危機管理体制を充実するとともに、速やかに国自らが対応できるよう体制整備に努めること。
  - (2) 土砂災害から人命を守る有効な手段は砂防えん堤等による施設整備である。然るに、その事業費の減少は誠に憂慮すべき状態にある。よって事業費の確保を図るとともに、災害時要援護者関連施設や避難場所、地域の防災拠点等を守る事業に重点化し、これらの対策を早急に完了させること。
  - (3) 土砂災害が引き起こされる地域の多くは中山間地である。地域の活性化には、まず安全と安心の確保が不可欠である。よって、中山間地を土砂災害から守り、地域の活性化に資するため事業の推進と施策を強力に進めること。
  - (4) 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定が急がれる。都道府県および市町村と連携し指定を促進するとともに、特に警戒避難体制の整備について、市町村長が避難の指示・勧告を速やかに行えるよう、国は技術的、財政的支援を強力に行うこと。
- 以上、緊急提言する。

平成20年7月23日

社団法人 全国治水砂防協会  
会長 綿貫民輔





静岡県都市山麓グリーンベルト・大内地区（静岡市）

「森と水辺を育てる会」のNPO法人化について

大内地区においては、平成9年度より土石流対策として砂防えん堤の整備を開始し、放置竹林により荒廃した斜面の対策のため、斜面一体を県で買収するとともに、地元住民に呼び掛け、竹林の伐採作業を進め、平成14年度より「協働」として取り組んできました。

こうした中、平成16年1月に地元有志を中心としたボランティア団体「森と水辺を育てる会」が発足し、平成17年3月には同会と県は砂防樹林帯（県有地）の維持管理に関する「砂防サポートプログラム」の合意書を締結して、同会主導で竹の伐採や梅、桜等の植樹を行うようになりました。

「森と水辺を育てる会」は、里山づくりを行っている一方で、地元の子供たちに自然豊かな環境学習の場を提供し、自分たちが子供の頃に体験した感動を与えたいという夢を持ち活動しています。

現在、里山作りに関しては、竹林を伐採して樹種転換を図る区域、管理された竹林として残す区域等に分けて整備しています。子供たちにはこの植樹作業を通じて、自然環境に触れる機会を提供しています。

このような活動が評価され、静岡市よりNPO法人としての認証を受け、平成20年10月1日にNPO法人「森と水辺を育てる会」となりました。今後は、現在活動を行っている大内モデル地区の近くで整備中の「大内遊水地」でも水辺の環境学習を合わせて行う等、活動を拡大していく予定と聞いております。



9月24日:NPO法人認証式(静岡市役所)

平成20年度の活動状況

日時	活動名称	活動内容
4月5日	第1回作業会	砂防えん堤周辺への柿と梅の苗の植樹・施肥
4月13日	第2回作業会	放置竹林を伐採した竹を破碎し、チップ化
4月19・20日	春の園芸市	駿府公園で会のPR、小学生を対象におもちゃ作りを実演
4月27日	タケノコ掘り	大内GB内の竹の本数管理に繋がる「タケノコ掘り」
5月18日	第3回作業会	下草刈り及び、施肥、竹の破碎、植樹作業
6月1日	第4回作業会	竹の破碎、山芋の植付け
6月15日	第5回作業会	過去の植樹箇所の下草刈り
7月19日	第6回作業会	管理道路周辺の下草刈り、竹の切り出し
7月20日	竹で炊くご飯炊き	竹製の飯ごうに米を入れ、竹炭でご飯を炊く
10月12日	第7回作業会	過去の植樹箇所の下草刈り、竹の切り出し
10月26日(予定)	第8回作業会	過去の植樹箇所の下草刈り、竹の切り出し
11月9日(予定)	第9回作業会	過去の植樹箇所の下草刈り、竹の切り出し



4月5日：柿と梅の苗の植樹（果樹園に変身）



4月20日：春の園芸市（竹踏みもあるよ）



7月20日：竹で炊くご飯（かおりもごちそう）

## 「地震後の土砂災害危険箇所等緊急点検」講習会及び「地震災害と中山間地の防災を考える」シンポジウムが開催される

9月3日、地震後の土砂災害危険箇所等緊急点検についての講習会が国土交通省で開催されました。6月の岩手・宮城内陸地震、7月の岩手県沿岸北部地震の2度にわたる地震において、TEC-FORCE（緊急災害対策緊急支援チーム）による土砂災害危険箇所等緊急点検が実施され、その成果が報告されました。この講習会では、緊急点検に参加する直轄事務所・応援県チームの準備での注意点や、受け入れを行う被災県の役割等が紹介されました。

また、中山間地の防災を考える会実行委員会の主催するシンポジウムが、東京都千代田放送会館で開催され、6月に発生した岩手・宮城内陸地震で大きな被害を受けた栗原市長を含む5人のパネリストにより、近年の大地震により中山間地が深刻な被害を受けて、過疎と高齢化が進む中で、早急な復興をどう実現させ、防災にどう取り組むのかが討論されました。

## 岩手・宮城内陸地震報告会が開催される

9月18日、「平成20年岩手・宮城内陸地震による土砂災害に関する報告会」が、シェーンバッハ・サボー（砂防会館別館）で開催されました。

報告会では、中野砂防部長の挨拶に続き、平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した河道閉塞（天然ダム）をはじめとする土砂災害に対して、国土交通省と岩手・宮城両県等が一体となって行ってきた対応等が各機関について報告されました。

また、中華人民共和国水利部成都山地災害・環境研究所の鄧偉所長及び東京農工大学の石川芳治教授より、四川大地震による土砂災害についての特別講演が行われました。



## (社)日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会が開催される



8月27～29日、平成20年度(社)日本地すべり学会第47回研究発表会及び現地見学会が、神奈川県足柄下郡箱根町で開催され、県内からは11人の職員が参加しました。

研究発表会では、特別セッションとして四川大地震や岩手・宮城内陸地震で発生した、大規模地すべりの状況とその復旧対策について報告があったほか、国内外の研究者及び技術者による研究成果発表、最先端技術の紹介が行われました。

また、現地見学会では、箱根地区の大規模温泉地すべりの現場において、災害の発生状況や対策工法について説明が行われ、有毒ガスの発生や高温水の噴出など、温泉地すべり特有の現場条件と、それに合わせた対策工法の選定などについて、活発な意見交換がなされました。

## 事業評価監視委員会の開催

8月26日、平成20年度第3回事業評価監視委員会（第1回：6月13日、第2回：8月8日）が県庁で開催されました。砂防関係事業の再評価の対象は、地すべり対策事業「口坂本（静岡市葵区口坂本）」、「向島（浜松市天竜区水窪町）」で「事業を継続するのが相当」との評価を受けました。事後評価の対象は、砂防事業「大場川右支川（裾野市）」、急傾斜地崩壊対策事業「横山（浜松市天竜区横山）」、治山地すべり防止事業「藤川（川根本町）」で「改善措置の必要性は特に認められない」との評価を受けました。

## 由比地すべり期成同盟会総会が開催される

7月15日、平成20年度由比地すべり対策事業推進期成同盟会の総会が由比町役場で開催されました。総会は、会長である望月由比町長の挨拶に始まり、来賓として地元選出である望月義夫衆議院議員、中部地方整備局河川部の村上河川調整官が、静岡県からは衛門建設部長が出席されました。議事では、平成20年度事業計画案や予算案が承認され、また、三輪富士砂防事務所長より、本年度の地すべり調査や工事内容等の事業計画が報告されました。

また、この11月に合併して会の事業を引継ぐ静岡市の富野土木部長に抱負をいただきました。

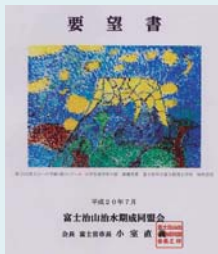


衛門建設部長の挨拶

## 富士治山治水期成同盟会が要望

7月22日、富士治山治水期成同盟会（会長：小室直義富士宮市長）による、県知事、県議会議員、建設部長への要望がありました。

富士山麓における治山治水事業の促進として、「Ⅰ 社会資本整備重点計画による治水事業の強力な推進について（富士山麓の砂防事業の推進）」、「Ⅱ 急傾斜地崩壊対策事業の強力な推進のための予算の大幅な確保について」要望されました。



## 平成20年度 中部地区砂防技術研究会が開催される

9月18・19日、中部地方整備局の主催による「平成20年度 中部地区砂防技術研究会」が、北陸地方整備局松本砂防事務所管内で開催されました。

18日、梓川流域の焼岳砂防事業(長野県松本市安曇上高地)について、釜ヶ淵堰堤や焼岳大噴火により形成された天然ダム「大正池」などの現場見学会や焼岳監督官詰所で土石流を捕捉したCCTV映像を見ながら底面スクリーン堰堤とワイヤーネット工法の技術説明などが行われました。19日、姫川流域の平川（白馬村）・浦川（小谷村）の砂防事業について、平川溪流再生工、源太郎砂防堰堤や稗田山の大崩壊地と堰堤群などの現場見学が行われました。



源太郎砂防堰堤と記念碑「はじめてに砂防ありき」



平成20年	8月	1日	分野別防災訓練	
	8月29日～	9月1日	総合防災訓練	
	9月29日～	10月4日	台日砂防研究会(台湾)	※紙面作成の都合上、次号とします。
	10月	7日	第2回土砂災害防止実務講習会(砂防会館)	〃
		8～9日	第21回砂防研究報告会(砂防会館)	〃
		15～16日	砂防学会シンポジウム(宮崎県)	〃

# お知らせコーナー

## 全国治水砂防促進大会及び静岡県支部砂防関係事業促進要望

- 【日 程】 平成20年11月27日(木) 11:10～  
 【場 所】 シェーンバツハ・サボー 1階 「利根」  
 【要 領 等】 詳細は、大会本部から要領が到着次第、会員の皆様に連絡させていただきます。大会終了後、静岡県支部砂防関係事業促進要望も例年どおり行いますので、ご協力よろしくお願いいたします。  
 【問合せ先】 砂防協会静岡県支部 TEL:054-221-3042



## 市町等砂防事業担当職員研修 《主催:砂防協会静岡県支部》

- 【日 程】 平成20年11月6・7日(木・金)  
 【集 合】 平成20年11月6日 ①静岡駅南口9:00 ②三島駅北口10:20  
 【研修内容】 研修(土砂災害対策における市町村の役割等): 湘南国際センター  
 ・場所) 現地研修: 葉山町～秦野市の砂防関係施設  
 【対 象 者】 市町砂防担当職員、土木事務所砂防担当職員  
 【申込方法】 FAX受付(054-221-3564)  
 【問合せ先】 砂防協会静岡県支部 TEL:054-221-3042



## 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の応募のお礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。なお、入選発表及び表彰式は平成21年3月を予定しております。



### 【応募状況】

部 門	小学生	中学生	計
絵 画	10	5	15
ポスター	33	19	52
作 文	1	14	15
合 計	44	38	82



- 10月 24日 ジオフォーラム2008 静岡(しずぎんユーフォニア10:00～)  
 11月 6～7日 市町等砂防事業担当職員研修 ※詳細は上記をご覧ください  
 11日 東海地区全国治水砂防協会支部長・砂防課長会議(三重県)  
 17日 東海地区直轄事務所長・砂防課長会議(静岡市)  
 27日 全国治水砂防促進大会及び静岡県支部砂防関係事業促進要望 ※詳細は上記をご覧ください  
 12月 17日 治山・砂防事業推進議員連盟現地視察

### 【表紙写真】



秋の彩り <撮影地: 田貫湖畔>  
 安實 憲一さん(焼津市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

## 編 集・後・記

8月21日～23日に行われた、市町長等砂防事業県外視察に初めて同行させていただきました。噴火による被害の様子を実際に映像で見ること、避難生活・町復興への道のりの厳しさ、災害がもたらす恐ろしさを改めて実感しました。静岡県では以前から東海地震が心配されており、今回の視察は今後の砂防事業の推進に大いに役立つものとなりました。ご多忙中にも関わらず多数の会員の皆様にご出席をいただき、無事視察を終えることができましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

砂防室ホームページのアドレスに移転しました。お手数ですが、ブックマークの変更をお願いします。  
 砂防室新HP: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>